

書面協議による審議会等の開催結果

1. 審議会等名

令和2年度第2回石狩市都市計画審議会

2. 書面協議とする理由

新型コロナウイルス感染症対策のため

3. 協議期間

令和2年6月9日(火)から令和2年6月22日(月)まで

4. 会議参加者

別紙「石狩市都市計画審議会委員名簿」のとおり

5. 報告事項

(事前説明案件)

(1) 札幌圏都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更

【北海道決定】

(2) 札幌圏都市計画区域区分の変更(第7回見直し)【北海道決定】

6. 協議事項

・出された意見等及び状況について

別紙「令和2年度第2回石狩市都市計画審議会(書面開催)において委員から

いただいた意見、質疑に対する事務局の回答」のとおり

・承認状況（結果）

別紙「令和2年度第2回石狩市都市計画審議会（書面開催）において委員からいただいた意見、質疑に対する事務局の回答」のとおり回答し、7月中旬に開催予定の第3回石狩市都市計画審議会にて本案件を諮問する

石狩市都市計画審議会委員名簿

令和2年4月15日現在

区分	氏 名	新・再	職 業 ・ 役 職 等
識 経 験 者	【会長】岡本 浩一	再任 4期目	北海学園大学工学部 教授
	榎 本 哲 史	新任	石狩商工会議所 会頭
	氏 家 暢	再任 3期目	石狩市農業協同組合 常務理事
	田 中 宏 実	再任 5期目	藤女子大学人間生活学部 教授
	井 田 直 人	再任 3期目	北海道科学大学工学部 准教授
市 議 会 議 員	伊 藤 一 治	新任	石政会
	神 代 知 花 子	新任	無所属(市民派議員の会)
行 政	菊 地 和 之	新任	空知総合振興局 札幌建設管理部 当別出張所 所長
公 募	中 村 嘉 光	再任 3期目	一般公募
	長 原 徳 治	新任	一般公募

●令和2年度第2回石狩市都市計画審議会(書面開催)において委員からいただいた意見、質疑に対する事務局の回答

委員	意見・ 質疑	記載 箇所	趣旨	質疑に対する事務局の回答
中村委員	意見	案件1 資料① 5ページ	「C 地域商業業務地」で、花川、本町、八幡とありますが、初めに花川とあり、優先順位のように読み取れますが、それであれば人口減少が見られる八幡、本町地区を花川地区より優先されたいと思います。	当該箇所は、商業業務地の配置の方針について記載しており、地区の表記については優先順位ではなく、商業業務系用途地域の面積順に記載しておりますので、ご理解をお願いします。
	意見	案件1 資料① 19ページ	「③主要な施設の整備目標 a下水道」で、花川南地区は素掘り側溝が見受けられますが、これの整備をお願いいたします。	当該箇所は、おおむね10年以内に整備予定の下水道事業として、花川南地区の雨水管渠整備のほか、市内の重要な幹線の耐震化などについて記載しております。 なお、ご意見のありました素掘り側溝(U字側溝)につきましては、下水道事業ではなく、道路舗装事業により整備を進めており、担当課に確認したところ、老朽化した道路の補修にあわせて、蓋の設置などを今後も継続して行っていくとのことです。
	質疑	案件1 資料① 23ページ	「(4)主要な緑地の確保目標」で石狩市は特に無いのでしょうか。	当該箇所は、おおむね10年以内に整備予定の主要な公園緑地等を記載することになります。現時点で本市では整備計画がありませんので、記載はしていません。
井田委員	質疑	案件2 説明スライド 33、34	工業及び商業の見通しについて、いずれも令和12年時点で減少するとされていますが、その様に推計されている具体的な根拠を教えてください。	スライド33の工業の見通しにつきましては、工業統計及び経済センサスにおける業種別の工業出荷額を「基礎資源型」、「地方資源型」、「金属加工型」、「雑貨型」の4つに分類し、各年の実績値をもとに数学的手法と呼ばれる方法により令和12年の額を推計し、その合計値で判断しております。その結果、令和12年の推計では工業出荷額は増加する結果となっておりますが、現在の市街地において工業系の未利用地が多くあり、拡大工業用地面積の算出をした結果、マイナスとなることから、市街化区域の拡大は行わないこととしております。 スライド34の商業の見通しにつきましては、商業統計及び経済センサスにおける「卸売販売額」、「小売販売額」の各年の実績値をもとに数学的手法により令和12年の額を推計し、その合計値で判断しております。販売額につきましては、増加している年と減少している年があり、平成27年は増加しておりますが、前記の推計手法により、令和12年は減少する結果となっていることから、市街化区域の拡大は行わないこととしております。 工業出荷額の内訳と卸小売販売額の内訳は、別紙参考資料のとおりとなっております。 なお、今回、これら数学的手法に用いた推計式は、北海道からの指示により、「直線」、「逆数」、「平方根」、「対数」、「指数」、「修正指数」、「ロジスティック」、「ゴンペルツ」、「べき乗」と呼ばれる9つの式で、「エクセル統計」というソフトを用いて算定しております。 推計式の検討につきましては、将来推計値の傾向や推計式としてふさわしいかの判断材料となる「相関係数」等により、推計値の信憑性を判断したうえで、採用する推計式を決定しております。

【参考資料】

★工業の見通し

●工業出荷額

(万円)

	H7	H12	H17	H22	H27	R12推計
基礎資源型	682,774	526,817	553,863	776,526	610,972	677,791
地方資源型	2,143,340	2,192,887	3,890,365	4,202,356	4,680,462	6,963,739
金属加工型	3,633,082	4,278,243	4,866,408	4,051,435	4,854,149	4,749,599
雑貨型	1,171,120	1,168,049	1,589,510	1,791,029	1,334,289	1,725,593
合 計	7,630,316	8,165,996	10,900,146	10,821,346	11,479,872	14,116,722
単位を億円に 変換	763	817	1,090	1,082	1,148	1,412

(出典:工業統計、経済センサス)

★商業の見通し

●卸小売販売額

(万円)

	H7	H12	H17	H22	H27	R12推計
卸売販売額	19,749,000	12,851,800	12,583,300	9,869,900	16,165,400	11,449,294
小売販売額	4,165,500	4,283,100	4,630,300	4,023,500	4,258,300	4,308,941
合 計	23,914,500	17,134,900	17,213,600	13,893,400	20,423,700	15,758,235
単位を億円に 変換	2,391	1,713	1,721	1,389	2,042	1,576

(出典:商業統計、経済センサス)

※工業出荷額、卸小売販売額とも、昭和60年、平成2年の額につきましては、調書上記載しておりますが、推計には反映しておりません。